

平成26年度第2回習志野市文化財審議会会議録

日 時 平成27年3月17日（火） 午後3時30分～午後5時10分
場 所 習志野市教育委員会1階大会議室
出席委員 山岸会長・夏目副会長・阿由葉委員・山本委員・朽木委員
出席職員 植松教育長・広瀬生涯学習部長・櫻井生涯学習部次長
上野社会教育課長・白鳥文化財係長・松浦主査
傍聴者 0名

会議次第・内容

— 開会 —

(1) 教育長挨拶

(2) 委員紹介

(3) 職員紹介

(4) 会長・副会長選出

会長に山岸委員、副会長に夏目委員が選出された。

(5) 会長・副会長挨拶

会議次第「(8) その他」は個人情報に関わる案件を含むため、非公開とすることに決定した。

(6) 議事録署名人選出

委員名簿の順に従い、朽木委員と山本委員が議事録署名人に選出された。

(7) 報告

① 指定文化財・登録文化財等

ア 県指定文化財

a 旧大沢家住宅

事務局 旧大沢家住宅について報告。

・平成27年2月28日現在の入館者数を報告。小学校の社会科授業及び総合学習の会場として活用されていることを報告。

b 旧鵜田家住宅

事務局 旧鵜田家住宅について報告。

・災害復旧工事の実施に伴い全面休館中であることを報告。
・災害復旧工事の実施状況を報告。8月に工事を開始し、1月28日に主屋の曳家工事を実施した。今後は基礎の復旧を行う。基礎復旧が終わったら、元の位置に曳き戻し、新しい基礎に定着させて、その後土壁・建具・土間・庭園敷地等を復旧させる。

委員 曳家の実施について市民への広報は行っていたのか。

事務局 曳家実施期日が直前まで決定できなかったため、広報紙での広報はできなかったが、報道機関を通じた広報を行った。

委員 曳家の実施業者は市内の業者なのか。

事務局 復旧工事を請け負っている業者が委託した業者で、市原市の業者と聞いている。

委員 特殊な技術ということか。

委員 曳家は需要も減っているのだから、業者はだいぶ減ってきていると思う。

② 埋蔵文化財

ア 開発に伴う埋蔵文化財の取扱確認・協議業務

事務局 埋蔵文化財包蔵地に係る相談業務、確認・協議の状況を報告。

イ 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱い

事務局 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱いについて報告。9月に報告書を刊行した藤崎3丁目南遺跡D地点、近日報告書が刊行される谷津貝塚(58)の調査成果の概要を報告。

委員 藤崎3丁目南遺跡D地点の柄鏡形竪穴建物跡の類例は県内にないのか。

事務局 柄鏡形竪穴建物跡は県内で多く発見されているが、このような小規模なものは類例を探し切れていない。

委員 埋甕の用途は何なのか。

委員 色々な用途が考えられるが、建物跡の出入り口部のものは胞衣(えな)壺という説もある。

③ その他

ア 文化財等の調査・整理

a 市史関連資料(図書・文献・電子文献等)の収集

b 市史編さん室保管資料(写真資料・古文書・文献資料等)の整理

事務局 市史関連資料の収集と現在保管している資料の整理を継続して実施した。

イ 文化財等の普及・活用

a 埋蔵文化財調査室・総合教育センターにおける出土遺物及び文献資料の展示

事務局 埋蔵文化財調査室及び総合教育センターにおいて、市内出土の考古資料と文献資料を展示している。総合教育センターでは現在、市指定文化財の実籾3丁目遺跡出土土器、9月に報告書を刊行した藤崎3丁目南遺跡出土資料、「富士山と民間信仰」と題した市内富士講に関する資料を展示している。

f 文化財関係の問合せへの回答

事務局 市民や他自治体等からの文化財・歴史に関する問合せに回答した。

ウ 文化財保護行政の推進

a 千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会

b 千葉県史跡整備市町村協議会

事務局 両協議会の活動内容について報告。千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会については、平成27年度に習志野市で第9回目の千葉県北西部地区文化財発表会を開催するので、その準備を実施している。また、今年度から建築物・建築物調査に関する勉強会を実施している。

— 以下、非公開 —

(8) その他

① 習志野市指定文化財の取り組みについて

② その他

— 閉会 —